

1/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2004 THOMSON DERWENT. All rts. reserv.

011083108 **Image available**
WPI Acc No: 1997-061032/ 199706
XRPX Acc No: N97-050579

Sheet mounting of address card - has re-stickable peelable
sections stuck
over bar code area and address area of mounting and contg. mail
number

and address name

Patent Assignee: TSUDA S (TSUD-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicant No	Kind	Date	Week
JP 8310167	A	19961126	JP 95133774	A	19950531	199706
B						

Priority Applications (No Type Date): JP 9556214 A 19950315

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 8310167	A		5	B42D-015/02	

Abstract (Basic): JP 8310167 A

The sheet-like mounting (1) has a lower section divided
into an

address area (4a) and a bar code area (4B). A re-stickable,
peelable

sheet (3) of 0.5mm thickness, is stuck over either area of the
mounting

(2).

The bar code in the bar code area corresponds to a mail
number. An

address name printed on the address area indicates the
registration

data of the card.

USE/ADVANTAGE - To stick on mail for automated mail
processing.

Uses re-stickable, peelable sheet which can easily be read by
e.g.

scanner.

Dwg.1/6

Title Terms: SHEET; MOUNT; ADDRESS; CARD; PEEL; SECTION; STICK;
BAR; CODE;

AREA; ADDRESS; AREA; MOUNT; CONTAIN; MAIL; NUMBER; ADDRESS; NAME

Derwent Class: P76; T04

International Patent Class (Main): B42D-015/02

International Patent Class (Additional): B42D-015/00; G06K-019/06

File Segment: EPI; EngPI

1/5/2 (Item 1 from file: 347)
DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05354667 **Image available**

SHEET-LIKE MOUNTING SHEET

PUB. NO.: 08-310167 [JP 8310167 A]
PUBLISHED: November 26, 1996 (19961126)
INVENTOR(s): TSUDA SHOZO
APPLICANT(s): TSUDA SHOZO [000000] (An Individual), JP (Japan)
APPL. NO.: 07-133774 [JP 95133774]
FILED: May 31, 1995 (19950531)
INTL CLASS: [6] B42D-015/02; B42D-015/00; G06K-019/06
JAPIO CLASS: 30.1 (MISCELLANEOUS GOODS -- Office Supplies); 45.3
(INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)
JAPIO KEYWORD: R107 (INFORMATION PROCESSING -- OCR & OMR Optical
Readers)

ABSTRACT

PURPOSE: To omit the labor-hour for the transfer of an address and a telephone number by adopting a constitution to easily cut out and laminate only the part of the address and the telephone number of a calling card to a notebook.

CONSTITUTION: A calling card 1 laminates a restickable release sheet 3 on the surface of a mounting sheet 2 having a thickness of about 0.5mm. A notch is provided on the sheet 3 at the lower part of the card 1 to form two easily releasable areas 4A, 4B. An address and a name are printed on the area 4A, and when the area 4A is released and laminated on an address record, the labor hour of the transfer is omitted. A postal number is printed by a bar code on the area 4B, and when the area 4B is released and laminated on a mail, it is easily mechanically read.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-310167

(43) 公開日 平成8年(1996)11月26日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 15/02	5 2 1		B 4 2 D 15/02	5 2 1
15/00	3 7 1		15/00	3 7 1
G 0 6 K 19/06			G 0 6 K 19/00	A

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-133774

(22) 出願日 平成7年(1995)5月31日

(31) 優先権主張番号 特願平7-56214

(32) 優先日 平7(1995)3月15日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 595038268

津田 昇三

大阪府枚方市山之上北町41-29

(72) 発明者 津田 昇三

大阪府枚方市山之上北町41-29

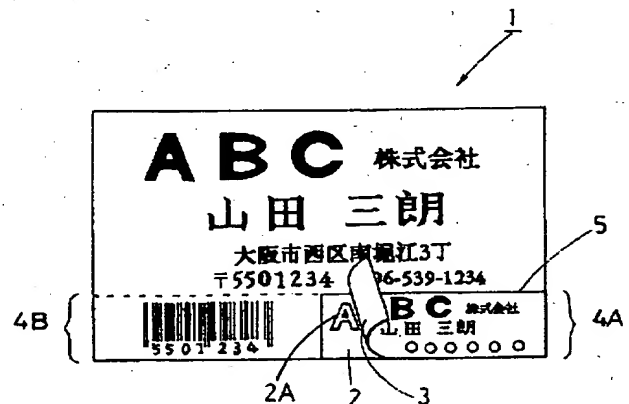
(74) 代理人 弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54) 【発明の名称】 シート状台紙

(57) 【要約】

【目的】 名刺等の住所や電話番号の部分のみを切り取って手帳に貼付しやすい構成として、住所や電話番号等の転記の手間を省くこと。

【構成】 名刺1は、厚さ0.5 mm程度の台紙2の表面に再貼着性剥離シート3を貼付したものである。名刺1の下の部分においては、再貼着性剥離シート3に切れ目を設けて2ヵ所の剥がしやすい領域4A、4Bを形成した。領域4Aには住所氏名が印刷され、剥がして住所録等に貼付すると転記する手間が省ける。領域4Bには郵便番号がバーコードで印刷され、剥がして郵便物に貼付すると機械的に読み取りやすくなる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 台紙の少なくとも片面の一部に、郵便番号もしくは電話番号の何れかの情報がバーコードとして記録された再貼着性剥離シートが貼付されていることを特徴とするシート状台紙。

【請求項2】 文字もしくはバーコードが記録された再貼着性剥離シートが貼付されている領域の台紙の表面には、文字もしくは図形が記録されており、再貼着性剥離シートを剥がしたときに前記文字もしくは図形が露頭するように構成されていることを特徴とするシート状台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、名刺等のシート状台紙の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、社会生活において、名刺を受け取ったり渡したりすることが多々あるが、その名刺の整理は容易なことではない。そのために、種々の名刺の整理方法や整理具が提案されている。近年においては、パーソナルコンピュータが普及したために、名刺情報の整理管理のためのソフトも種々発表されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、従来の何れの方法でも、整理するための手間がかかったり、大きなスペースを要したり、データの入力やスキャナ等の高価が機器を要するという点で、現実的なものは見出せない。結局、重要な人の名刺は、個人の住所録や手帳等に転記しておくことが現実的な処理であった。

【0004】 ところが、転記の手間が大変であるために、転記することを怠り、いざ必要になったときに、名刺を捜しまわっても見つからないということが多々あった。また、小まめに転記しても転記ミスが発生したりして、間違い電話を掛けてしまうことが多々発生するという問題もあった。また、郵便物を発送するときに、住所録や手帳から転記することは手間がかかるので、つい郵便物を出すことが面倒になりがちであった。

【0005】 本発明は、名刺の整理の目的は、後日にその住所や電話番号等を使用するときのためである点に着目して、名刺の住所や電話番号の部分のみを手帳や郵便物に貼付しやすい構成とすることを目的としてなされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 請求項1の発明は、台紙の少なくとも片面の一部に、郵便番号もしくは電話番号の何れかの情報がバーコードとして記録された再貼着性剥離シートが貼付されているものである。請求項2の発明は、文字もしくはバーコードが記録された再貼着性剥離シートが貼付されている領域の台紙には、文字もしくは図形が記録されており、再貼着性剥離シートを剥がし

2

たときに前記文字もしくは図形が露頭するように構成した。

【0007】 台紙は、名刺でも葉書でもよい。再貼着性剥離シートの貼付は、台紙の両面でもよく、また、片面の全部でもよい。再貼着性剥離シートは、剥離可能なシートであって、再度貼付することのできるシートであればよい。

【0008】

【作用】 請求項1の発明では、台紙の少なくとも片面の一部に、郵便番号もしくは電話番号の何れかの情報がバーコードとして記録された再貼着性剥離シートが貼付されているので、剥がした再貼着性剥離シートを郵便物や住所録に貼付すると、スキャナ等の機械的な読み取り手段によって読み取ることが容易になる。

【0009】 請求項2の発明では、再貼着性剥離シートが貼付されている領域の台紙には、文字もしくは図形が記録されており、再貼着性剥離シートを剥がしたときに前記文字もしくは図形が露頭するように構成したことにより、本来は隠れて無駄になる台紙面を有効活用できる。

【0010】

【実施例】 以下に、本発明にかかるシート状台紙を、その実施例を示した図面に基づいて詳細に説明する。

【0011】 図1、2において、1は名刺であり、厚さ0.5 mm程度の台紙2の表面に再貼着性剥離シート3を貼付したものである。前記名刺1の中央部分には、会社名、氏名、会社住所、電話番号等の必要情報が表記されている。会社住所には郵便番号も記されている。前記再貼着性剥離シート3の隅の部分の領域4に二本の切れ目5A、5Bを設け、二つの領域4A、4Bを剥離しやすいように構成するとともに、一方の領域4Aには名刺の情報の要部を比較的小さな文字で表記し、他方の領域4Bには郵便番号をバーコード化して表記した。

【0012】 上記構成の名刺1を受け取った後に、前記再貼着性剥離シート3の名刺の情報の要部が文字で表記された領域4Aを、台紙2から剥がして住所片4A'とし、図3に示したように、手帳や住所録6に住所片4A'を貼付することによって、名刺を見ながら転記する手間や、転記ミス等を無くすることが可能になるという効果が得られる。

【0013】 よって、この名刺1を用いることによって、当該名刺を渡す側にとっても、受け取る側にとっても、従来にない利点がある。また、前記再貼着性剥離シート3に覆われた台紙2の表面に、当該名刺の持主の会社名や商品等を文字もしくは図形で印刷した広告部2Aを設けてもよい。この場合には、再貼着性剥離シートを剥がしたときに前記広告部2Aが露頭するので、その会社名や商品等を印象強くアピールすることができる。このような効果を、本来は隠れて無駄になる台紙面を有効利用して得ることができるのである。

3

【0014】また、名刺1の本人に郵便物を発送するときには、バーコードが表記された領域4Bを台紙2から剥がして、図4に示したように、バーコードシール4B'として当該郵便物7の所定の位置に貼付することができる。このようにして、郵便番号がバーコード化されて表記されているバーコードシール4B'を用いると、郵便局において仕分けするとき、バーコードスキャナ等の読み取り装置で、瞬時に正確に読み取ることが可能であり、郵便局における仕分け作業を機械化して極めて効率よく行えるようになる。

【0015】なお、このようなバーコードによる郵便番号システムを採用することは、以下のように具体的に検討されている。実際、郵政省は平成7年5月19日に郵便番号の七けた制を郵政審議会に正式に諮問した。郵便番号が七けた制になれば、市町村までの宛先を省略できるとともに、仕分け作業の機械化が進み、大幅なコスト削減が期待でき、郵便番号をバーコード化して機械化すると、10年間に累計二千億円以上の収益改善と約八千人分の労働力の節減ができると試算されている。さらに、郵便物を発送する側が自らバーコードを付して出す場合には、郵便料金の大幅割引も検討されている。

【0016】このようにして、この名刺1から剥がしたバーコードシール4B'を郵便物7に貼付すれば、仕分け作業が効率良く行えるだけでなく、郵便料金の割引という経済的な効果も期待できるのである。よって、この名刺1を渡す側には、自分宛の郵便を出して貰いやすくなるという効果がある。

【0017】以上のような理由により、この名刺1を用いることによって、当該名刺を渡す側にとっても、仕分けする郵便局側にとっても、受け取る側にとっても、従来にない利点がある。

【0018】図1においては、再貼着性剥離シート3の剥がす領域は2ヵ所にしたが、3ヵ所以上の複数の領域を剥がすようにして、その何れかには文字情報で表記し、他の何れかにはバーコードで郵便番号を表記するとよい。また、図5に示したように、縦長の名刺でもよいことは当然である。

【0019】また、図1、2においては、表側に再貼着性剥離シート3を貼付したが、図6に示したように、裏面に再貼着性剥離シートを貼付したり、二つ折りの片側のみに再貼着性剥離シートを貼付してもよい。裏面に再貼着性剥離シートを貼付した場合には、裏面前面を縦横複数の領域に分割し、それぞれの領域を切れ目によって一枚ずつ剥がせるように構成してもよい。

【0020】これによって、1枚の名刺から、多数の住所片およびバーコードシールを得ることができ、種々のものに貼付することや、種々の郵便物に貼付して住所の記載を省略することができる。二つ折りの片側に再貼着性剥離シートを貼付した場合にも同様に複数の領域に分割するとよい。

4

【0021】何れの場合でも、剥がす領域の少なくとも一つ以上の領域に郵便番号をバーコードで表記してバーコードシールとすればよい。このようにして、住所録への転記を不要にできるとともに、郵便番号用のバーコードシールとして利用できる。また、名前シールとして活用することもできる。

【0022】また、年が変わって、新しい手帳に変える場合でも、古い住所録から剥がして新しい住所録に貼付すればよい。

10 【0023】また、名刺に限らず、種々の大きさの台紙に適用することが可能である。例えば、葉書の一部に、住所、氏名等が記載された領域と郵便番号がバーコード化されて表記された領域を形成し、この領域を再貼着性剥離シートによって構成することによって、受け取った葉書の当該領域を剥がして住所録や返信用の郵便物に貼付することも可能である。

20 【0024】このように、以上において説明した本発明は、種々の使用方法に発展させることのできる応用範囲の広い発明である。いずれにせよ、その構成としては、一部が再貼着性剥離シートで構成されておればよく、好ましくは、再貼着性剥離シートの一部の領域に住所、氏名等を表記し、他の一部の領域には郵便番号をバーコード化して表記すればよいのである。

30 【0025】また、剥がせる領域には、文字やバーコードによらず、磁気情報として記録されていてもよい。また、再貼着性剥離シートには、郵便番号に限らず、電話番号をバーコード化もしくは磁気情報として記録してもよい。この場合には、住所録もしくは電話帳に貼付しておけば、スキャナや磁気リーダー等の読み取り手段で読み取ることによって自動的にダイヤルすることが可能になる。

【0026】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、郵便番号もしくは電話番号の何れかの情報がバーコードとして記録された再貼着性剥離シートを剥がして、郵便物や住所録等に貼付することによって、スキャナ等の機械的な読み取り手段でその情報を速やかに且つ正確に読み取ることができるので、郵便物の仕分けや住所等の情報の管理を機械化して効率よく行えるという効果が得られる。

40 【0027】また、請求項2の発明によれば、前記再貼着性剥離シートに覆われた台紙の表面に文字もしくは図形を表記しておくことにより、再貼着性剥離シートを剥がしたときに前記広告が露顕するので、その文字や図形を印象強くアピールすることができるとともに、台紙面の有効利用が計れるという効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかるシート状台紙の実施例の名刺の構成を示した平面図である。

【図2】前記名刺の一部側面断面図である。

50 【図3】前記名刺の使用法を示す図である。

5

6

【図4】前記名刺の使用方法を示す図である。

【図5】別実施例の平面図である。

【図6】別実施例の平面図である。

【符号の説明】

1 名刺（シート状台紙）

2 台紙

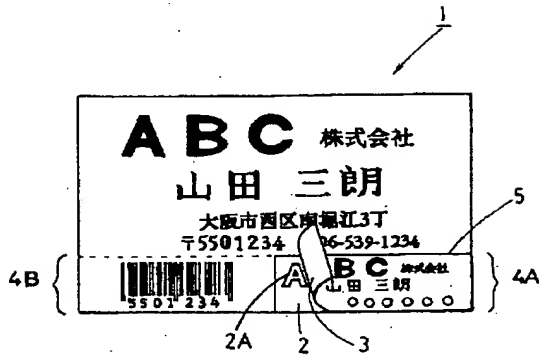
3 再貼着性剥離シート

4 領域

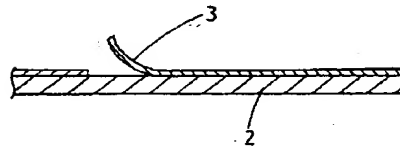
4A' 住所片

4B' バーコードシール

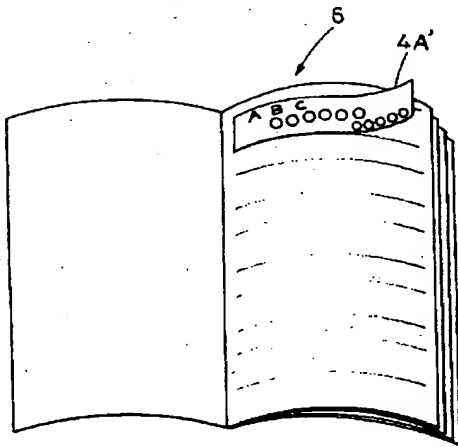
【図1】



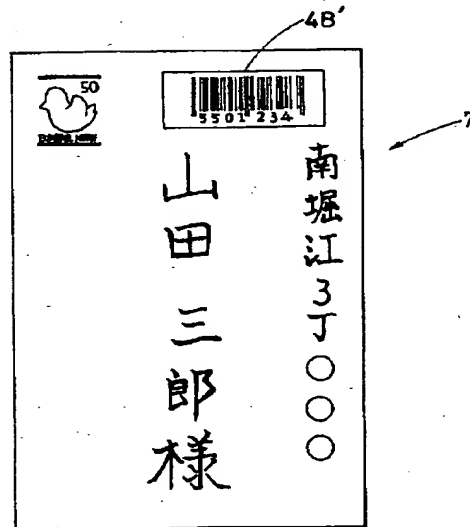
【図2】



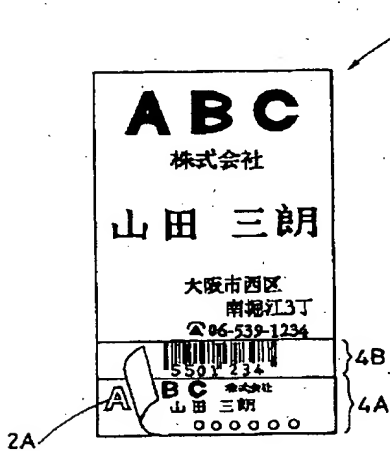
【図3】







【図4】







【図5】



【図6】

ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234

ABC 株式会社 山田 三朗 大阪市西区南堀江3丁 〒5501234 ☎06-559-1234	ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
	ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
	ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234
	ABC 株式会社 山田 三朗 0000	 5501 234